

画像による 病変の由来部位の診断

1

中枢神経

2

頭頸部

3

脊椎・
脊髄腔

4

胸部

5

腹部

6

骨軟部

第1章

中枢神経

s9

1. テント上を中心に脳表から頭蓋骨

— intraaxial vs. extraaxial — (神谷昂平, 國松 聡)s10

1 脳実質内 (intraaxial) vs. 脳実質外 (extraaxial)s10

2 くも膜下腔から頭蓋冠s14

3 症例提示s16

NOTE 脳の栄養血管s12

2. テント上, 脳室から脳室周囲 (松木 充)s22

1 第三脳室内腫瘍s22

2 松果体部腫瘍の鑑別s28

3 側脳室内腫瘍s32

NOTE 中間帆槽 (velum interpositum cistern)s36

三側性網膜芽細胞腫 (trilateral retinoblastoma ; TRb)s37

3. テント下 (松島理士)s38

1 脳実質内・外の鑑別のための評価s38

2 病変部や隣接する骨の変化に対する評価s45

3 病変の進展パターンや形状に対する評価s48

4 第四脳室および中脳水道近傍s50

4. 眼窩・頭蓋底・トルコ鞍周囲 (住田 薫, 森 壘)s56

1 眼窩s56

2 頭蓋底s60

3 トルコ鞍周囲s64

NOTE tram-track signs59

傍咽頭間隙，口腔底，舌骨下頸部

(檜山貴志，関谷浩太郎，辰野 聡，尾尻博也，南 学)s70

- 1 傍咽頭間隙と周囲の間隙s70
- 2 口腔底とその周辺s77
- 3 舌骨下頸部s81

NOTE 滲出性中耳炎?s71
頭頸部癌の原発巣s80

髄内，硬膜内髄外，硬膜外および脊椎 (増本智彦)s86

- 1 髄内s86
- 2 硬膜内髄外s90
- 3 硬膜外s93
- 4 脊椎s97

1. 縦 隔 (眞門克典)s102

- 1 縦隔区分の実際s102
- 2 縦隔区分(規約区分)による鑑別診断s106
- 3 心横隔膜角部 (cardiophrenic space)s110
- 4 横隔膜脚後腔 (retrocrural space)s111
- 5 心嚢周囲構造s112
- 6 縦隔腫瘍? 肺腫瘍? 胸膜腫瘍?s114

NOTE epipericardial fat pad? pericardial fat pad? paracardial fat pad?s110

2. 肺・胸壁 (杉浦弘明，陣崎雅弘)s118

- 1 胸膜の腫瘍性病変s118
- 2 巨大な腫瘍性病変s120
- 3 胸壁の腫瘍性病変s122
- 4 腹部臓器の胸腔内突出s126
- 5 慢性膿胸合併症s128
- 6 胸壁感染症の胸腔内波及s129

NOTE split pleura signs131

1.	上腹部 (市場文功)	s134
1	総論	s134
2	各論	s137
2.	後腹膜腔 (宗近次朗, 竹山信之, 扇谷芳光, 後閑武彦)	s150
1	後腹膜の解剖	s150
2	後腹膜病変の分類	s151
3	症例提示および読影手順	s152
	NOTE interfascial plane	s151
	walled-off necrosis (WON : 被包化膿壊死)	s155
3.	下腹部 (渡谷岳行)	s164
1	総論	s164
2	各論	s167
	NOTE Retzius腔の由来	s165

1.	骨 (常陸 真, 江原 茂)	s176
1	骨組織	s176
2	骨腫瘍診断における基本事項	s178
3	骨髄腔内病変	s181
4	骨皮質病変	s186
5	骨膜下病変	s187
6	骨膜性病変	s188
7	傍骨性病変	s189
	NOTE 骨端 (apophysis) : 荷重に関与しない骨突起	s178
	骨表在性病変 : 傍骨性 (juxtacortical/parosteal), 骨膜性 (periosteal)	s188
2.	軟部組織 (青木隆敏)	s191
1	骨由来か軟部由来か?	s191
2	筋膜で区画された部位の診断	s193
3	神経や腱膜・筋膜との関係	s196
4	滑液包とリンパ節	s198
	NOTE 代表的な滑液包	s199

索引 (INDEX)	s201
------------------	------